

長野革命を日本へ。

新党日本には、答えがあります。

談合が相次いだ不透明な入札制度を抜本的に改め、全国唯一、6年連続で財政赤字を減らし、プライマリーバランス（基礎的財政収支）を連続黒字化した県知事時代の田中康夫。宅幼老所を300ヶ所、小学校全学年で30人規模学級、森林整備予算を2.5倍…。地域密着型の福祉・教育・雇用を創出した田中康夫の新党日本には、具体的な実績に裏打ちされた「信じられる日本へ」の答えがあります。

『脱ダム』宣言で地域に雇用を

中央のゼネコンに総事業費の8割が還流していくダム建設に象徴される巨大公共事業から、地域密着型の公共事業へと転換。地域住民と共に、ダムに頼らない治水・治山を実現。

小学校全学年で「30人規模学級」を実現

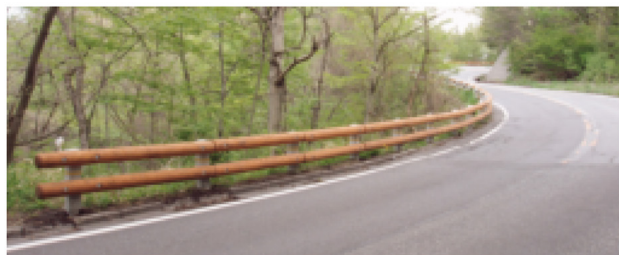
すべての小学校で6年生までの少人数学級を実施。教員採用試験の受験年齢制限を全廃し、豊かな経験を有する社会人校長や教諭を積極採用。現場の意識改革を促進。

徹底した入札改革で「談合県政」を刷新

あらゆる分野の事業で一般競争入札を導入。「談合摘発」に実績を有する弁護士を会計局長に任用し、検査部門を強化。不透明な税金の流れを断ち、予算を福祉・医療・教育分野に。

「木製ガードレール」開発で地域雇用を創出

鋼製ガードレールの設置費用は全額自治体負担にも拘らず、大都市圏の企業が製造。地域で出来る事は地域で、を合い言葉に開発した木製ガードレールは景観育成にも寄与。



“温もりと美しさ”を感じさせる信州型木製ガードレールは、地元の建設業者・木材業者・県土木部の共同開発。鋼製と同じ耐久度を確保し、同額事業予算で5倍の地域雇用を実現。

日本の未来、 みんなの選択。

全国唯一、6年連続で財政黒字化を達成

財政再建団体転落寸前だった県財政の再建に、知事就任と同時に着手。県債残高(借金)を全国唯一、6年連続で計923億円減少させ、プライマリーバランスの連続黒字化を達成。

お年寄りと乳幼児のための「宅幼老所」を設置

集落や商店街の空き家を利用し、高齢者のデイサービスと3歳未満の乳幼児保育を一緒に行う「宅幼老所」を300ヶ所に設置。施設建設ありきのハコモノ福祉行政を大転換。

「ドクターヘリ」導入で緊急医療体制を充実

全国に先駆け、実質2機体制を確立。医師と看護師が乗り込み、通報から治療開始までの時間を大幅に短縮。スキー場や避暑地等での観光客の救命救急にも効果を発揮。

「車座集会」で地域住民との直接対話

事前予約不要で誰もが参加・発言可能な、毎回2時間半以上に及ぶ直接対話。延べ1万5千人の参加者。養護学校への看護師常駐を始め、提言を切っ掛けに数多くの施策が実現。

建設産業構造改革支援プログラム★信州きこり養成講座★「安心・安全・正直な温泉表示」認定制度★原産地呼称管理制度★BSE全頭検査★化学農業・化学肥料の使用を半減・全廃するレス50・レス100生産者支援★ヤミ金110番★チャイルドライン★児童虐待・DV24時間ホットライン★県有施設の敷地内全面禁煙★上高地への観光バスをハイブリッド車に限定★マンション軽井沢メソッド宣言★迷子の犬猫HP情報★無医地区通院支援車★外郭団体統廃合の徹底★人件費こそ最大の事業費・ゼロ予算事業で職員意識改革★専門職員が直接説明に出掛ける出前講座★部課長が庁舎入口で案内役を務めるお尋ねコンシェルジュ

この他にも数多くの改革の実績。詳しくはホームページを。

URL <http://www.love-nippon.com/>

失敗を恐れていたなら、新しい提案など生み出せはしない。
古い観念に捕らわれていたら、新しい「日本」など創り出せはしない。
他ではできないことを本気でやる。どんどんやる。
合い言葉は、信じられる日本へ。
常識をひっくり返すことにこそ、夢がある。みんなの「日本」が動き出す！
さあ、信じられる日本へ。

team nippon

2005.8.22 新党日本結党宣言より